

～海岸に自生するウバメガシで良質な備長炭生産～

久能 忠和さん(愛南町(旧城辺町))

久能林業 1971年生まれ



### ☆経営概況☆

林業：白炭生産 年間 約20～40 t  
農業：水稲 約5ha (内受託3ha)  
作業比率：林業9割、農業1割

### ☆ここがポイント☆

#### ■高品質な伊豫備長炭の生産！

もともと家業は木材生産主体の林業でしたが、30年ほど前から地元で自生するウバメガシを活用して、高級な備長炭の生産を開始しました。

私は21歳から父について従事してきましたが、炭焼きは、原木調達から始まり、これを窯に入るサイズに切断します。一度窯に入ると日々監視しなければならず、たいへん難しい仕事です。火加減を間違えると苦労が水の泡になりますが、**金属音のする良質な備長炭に焼き上がった時の喜び**はなにものにも代えがたく、**本気で取り組もう！**と跡継ぎを決意しました。

現在は、家族労働(4人)を中心に、白炭を年間約20t程度生産しています。

久能林業の製品は、ほとんどを関東に出荷しており、「伊豫備長」の銘柄で定着しています。備長炭は燃やしても灰をかぶりにくく、高温を長く保つことが特徴です。関東では、焼き肉・シャブシャブなど料理用の燃料に使用されています。

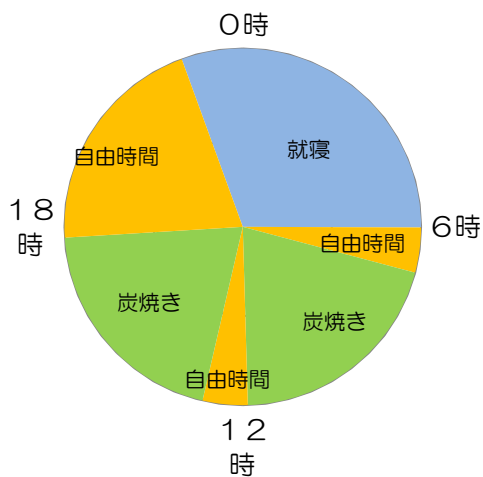


火入れ後の炭窯の前で



カット前の備長炭

【一日のライフスタイル】



【普段の生活について】

子供は3人とも日本舞踊を習っています。普段は、3人それぞれの習い事やサッカーの遠征、吹奏楽の演奏会などの送迎で時間を取られています。休日は、家族で大洲・松山方面にドライブして、映画を見たり、温泉に行ったりしています。

今は、自分の時間がほとんどありませんが、夕食時の晩酌が楽しみで、毎日子供達と談笑しながら美味しくお酒を飲んでいきます。また、PTAは同世代の方もいて、こちらの懇親会も楽しみです。

【一週間のライフスタイル】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	炭焼き				農業	休日
【普通期】	炭焼き				休日は不定期	



平成30年に入会した南宇和林業経営研究会の研修会にも積極的に参加しています。

☆これからの夢や目指すもの☆

■～世界に通用する備長炭を目指して～

夢は大きく、高品質の伊豫備長炭を安定的に生産して、世界に通用する備長炭に磨きをかけていきたいと考えています。消費地でどのように使用されているか、お客様の声を聞いてみたいと考えています。

☆メッセージ☆

■子供が跡を継ぎたいと思うような家業に！

やっぱり、家は世代を繋いでいくことが大切なので、自分の代で後継者が跡を継げる体制を構築していきたいと思っています。そのためにも、効率的な原木の調達や積極的な施設整備により、増収に努めていくつもりです。